

参加人数

産	167名
学	13名
官	71名

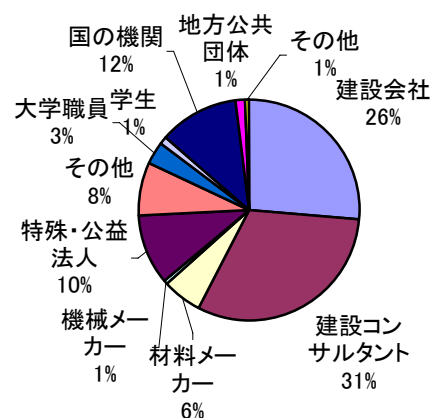
アンケート結果

◆アンケート回収率 61.8%

聴講総数	251名
アンケート回収総数	155名

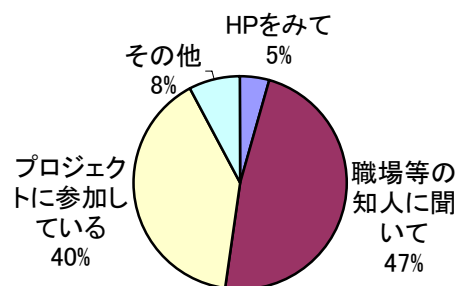
Q1. ご所属をお聞かせ下さい。

建設会社	41名
建設コンサルタント	48名
材料メーカー	9名
機械メーカー	1名
特殊・公益法人	16名
その他	12名
大学職員	5名
学生	2名
国の機関	18名
地方公共団体	2名
その他	1名



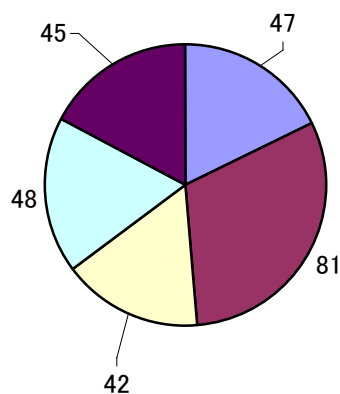
Q2. このセミナーを何でお知りになりましたか。

HPをみて	7名
職場等の知人に聞いて	74名
プロジェクトに参加している	62名
その他	12名



Q3-1 プログラムの中で、興味深く思われたのは、どのテーマですか？（複数回答可）

上位5位



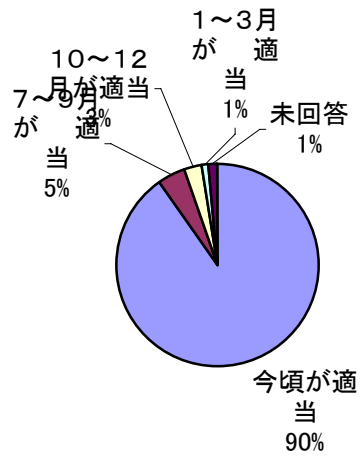
- 特別講演「国内のナノテクノロジーの現状と将来」
- 既設橋の最適延命化方策の評価・策定に関する研究
- 道路トンネル健全性評価技術の研究
- 舗装用骨材資源の有効利用に関する研究
- 鋼橋の疲労亀裂進展シミュレーション手法の開発とその維持管理への応用に関する研究

<理由>

- ・ 特別講演は新しい知識を得ることが出来、興味深かった。
- ・ 日頃関心のあったテーマであったから。
- ・ 昔から興味があった。
- ・ 学生時代に専攻していた研究と内容が近い点があったため。
- ・ 「各プロジェクトチームの研究概要」説明で興味を持ったテーマと実際に受講して有意義であった研究テーマである。
- ・ 身近な研究であるため。
- ・ 業務に関係があるから
- ・ 業務に関連のあるプロジェクト報告は内容も分かり易く興味深い。
- ・ 自分の活動分野に関連がある
- ・ 新技術への関心と仕事に関係するテーマ
- ・ 仕事（設計）でいつも悩んでいるので。
- ・ 専門分野であるため
- ・ 橋梁の補修設計を最近多く手がけている。
- ・ アンカー維持管理に取り組んでいる。
- ・ アーチカルバートに関心があるため
- ・ ナノテクによる道路普及（道路構造物等）の管理データ収集分析のためのツールとして活用手法の発展の可能性を期待した。
- ・ 騒音問題は重要かつ困難な問題である。精度よい予測手法の開発が望まれる。
- ・ トンネル施工において、留意すべき点があると考えたため。
- ・ アスファルト舗装の延命化と骨材リサイクルに関心があるので、騒音が病気を引き起こす原因となる事、その解析法について興味があった。
- ・ MEMS技術の進歩状況がよく分かった。
- ・ 維持管理が重要課題。（プロジェクトは連結して、維持費を増額させるべき）
- ・ 道路財庫を長く使える方法が大事。
- ・ 今後の課題は、健全性、時価、モニタリングなどの保全がメインと考えるため。
- ・ 今後の維持管理に有効な手段となる
- ・ 近年課題になっている事柄について適切なプログラムで非常に参考になった。
- ・ 防災技術の一つとしてモニタリング技術による評価は今後重要になると考えられるから。
- ・ メンテナンスに興味がある。
- ・ 土木構造物のメンテナンスは将来に向けて重要な課題であるが、多大な問題をかかえており、その解決の一步となると考える。

Q.3-2 開催時期について

今頃が適当	140名
7～9月が適当	7名
10～12月が適当	4名
1～3月が適当	2名
未回答	2名

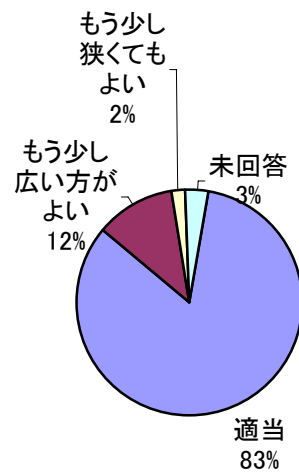


Q.3-3 会場について

(広さについて)

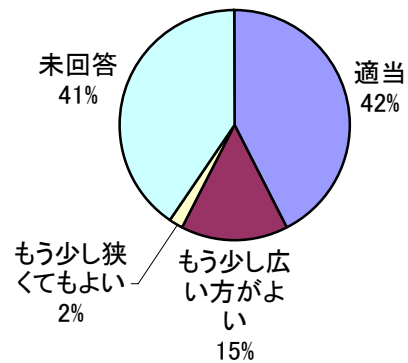
2F大会議室

適当	129名
もう少し広い方がよい	18名
もう少し狭くてもよい	3名
未回答	5名



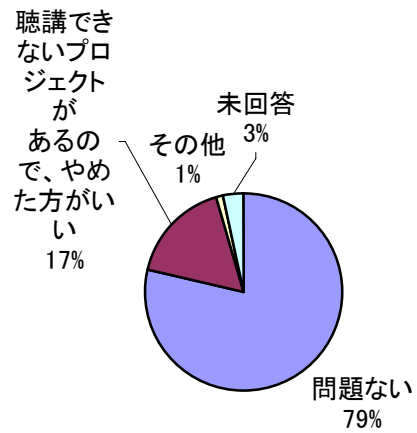
3F第4会議室

適当	66名
もう少し広い方がよい	23名
もう少し狭くてもよい	3名
未回答	63名



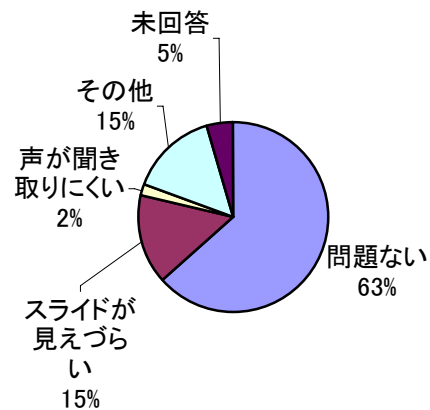
(会場が分かれることについて)

問題ない	122名
聴講できないプロジェクトがあるので、やめた方がいい	26名
その他(テーマ別がよい)	2名
未回答	5名



(会場設備について)

問題ない	98名
スライドが見えづらい	24名
声が聞き取りにくい	3名
その他	23名
未回答	7名



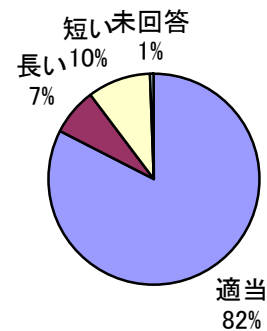
(その他の意見)

- ・非常に暑かった。
- ・入り口の扉が閉まる最の音が気になった。
- ・第四会議室の広さの割にスクリーンが小さく見え辛い。
- ・会場を暗くして、スクリーンを見やすくしたほうがよい。

Q3-4 各プロジェクトチームの発表について

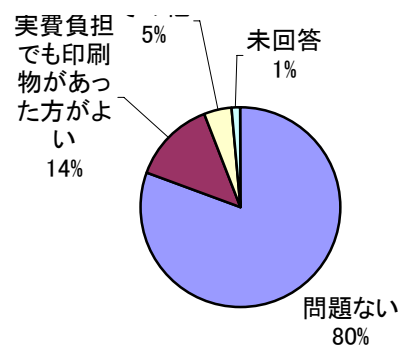
発表時間について(45分)

適当	128名
長い	11名
短い	15名
未回答	1名



テキストの配布形式について(HPの配布)

問題ない	125名
実費負担でも印刷物があった方がよい	21名
その他	7名
未回答	2名



Q3-5. 本セミナーにおいて良かった点、改善すべき点など、ご意見がありましたら、お聞かせ下さい

◆本セミナーにおいて良かった点

(会場・プログラムに関する意見)

- ・聞きたいものを選択できた
- ・1回で様々なプロジェクトが聞ける。
- ・概要を午前中に説明することで何を聴講するか判断できて良かった。
- ・各研究の概要説明があるのは良かった
- ・無料であること。資料が手軽にダウンロードできること
- ・PDFによる資料配付はエコで良かった。
- ・HPでテキストを事前に確認できるので、内容がよく理解出来る。
- ・2階大会議室、テーブル椅子があり、ゆったりしていて良かった。
- ・開催場所は交通に便利で良かった。
- ・大会議室は見やすかった。特別講演はおもしろい内容で勉強になった。

(各プロジェクトの内容に関する意見)

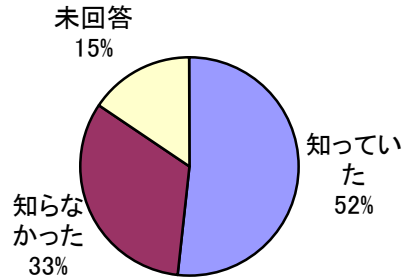
- ・土木以外の分野の特別講演が大変面白かった。
- ・興味がある議題が多かった。
- ・最新トピックや社会の動向がわかった。
- ・最新の技術情報が得られた。
- ・テーマの選定が社会的ニーズにマッチしていて聴講が勉強になった。今後ともテーマ選択には十分な検討を期待してる。
- ・社会のニーズに先駆けていると思われる程、先端的なテーマが選定せてれていると感じた。
- ・産、学、官の方のお話を聞く機会が少ないので非常に貴重なセミナーだ。
- ・説明はわかりやすく、別分野の者にも理解しやすい。
- ・どの発表者もプレゼンテーションが上手く聞きやすかった。
- ・研究内容がよく理解できた。
- ・要点が上手くまとめられていた。
- ・小寺先生の話は興味深く拝聴させて頂いた
- ・延命化プロジェクトについての説明が分かり易かった。
- ・有効利用等、環境問題等を再認識した。

◆本セミナーにおいて改善すべき点

- ・第四会議室はスクリーンが小さい。マイク設備が悪く聞きづらい。
- ・会場は一箇所にして欲しい。聴講したいプログラムが重複した。
- ・部屋が暑くて集中できなかった。とにかく暑かった。室温が高すぎて不快であった。
- ・机は3人がけにするなら、前後スペースをもう少し広げた方がよい。
- ・休憩時間が短すぎる。
- ・時間が短いため、十分な内容が理解できない。
- ・発表時間を30分程度として、コンテンツを増やせないか？
- ・発表内容に応じて、時間配分をすれば良かったのでは？
- ・各プロジェクトの概要報告のタイムスケジュールが守られていない。第5回も同様であった。質問の時間が必要では？
- ・特別講演は午後にした方がよい。
- ・特別講演の時間を各発表にまわす方がよいのでは？特別講演が必要であれば、2日間開催すれべき。
- ・概要の説明的な発表があったが、もう少し絞って具体の説明を聞きたいと思う。
- ・概要は1ページずつでも添付して欲しい。
- ・配布テキストと発表内容の不一致が多く、内容を理解しづらい部分があった。特に概要版は配布が必要。
- ・パワーポイントの字が読めない。配布資料にパワーポイントを入れて欲しい。発表資料もHPで掲載すべき。
- ・先生方の発表されたパワーポイントのデータをHPで入手できればうれしい。
- ・研究概要は不要、研究概要もHPでの配布が良い。
- ・午前「研究概要」の時間をもう少し長くした方がよい。
- ・見にくい図は使うべきではない、発表するからには理解させるよう努力を願う。
- ・偶然かもしれませんが、発表者が学の方に偏って配分されていたような気がする。産・官の方の発表もあってはよいのでは。
- ・まとめ課題については、文字だけでなく絵も入れて欲しい。

Q4. 当研究会が発足して約6年が経過しましたが、このような取組みについてはご存知でしたか？

知っていた	80名
知らなかった	51名
未回答	24名



Q5. 次回、本セミナー等で取り上げて欲しい話題等がありましたら、お書き下さい。

- ・ 社会基盤整備に対する納税者への合意形成手法、社会基盤のアセットマネジメント
- ・ 下水道関連
- ・ 予防保全対策の取り組み状況
- ・ 既設橋梁の健全度診断の方策について
- ・ 交通安全事業に関する項目を増やして欲しい。例えば、車道を走る自転車対策、交差点改良等
- ・ 環境に配慮していた舗装技術。舗装の延命化技術
- ・ コンクリートの乾燥収縮問題について、収縮対策として、石灰を使うように指示する
ゼネコンがいる
- ・ 橋梁の維持管理、補修、補強の事例
- ・ 橋梁の話題がもっと欲しい
- ・ 補修、補強技術について
- ・ 調査及び設計不備等による施工トラブル事例の原因と対応策について
- ・ 施修工法全容と個別課題に対する適用方法について（対等が適正であったか）
- ・ 建設業における低炭素工法
- ・ 車輻の大型化→中型化にすることによりどれだけのコスト縮減、構造物の延命化が出来るか。
又大型車の規制化について
- ・ 公共工事での採用拡大の見通し等の発注者側の考えを聞かせて欲しい
- ・ 環境、二酸化炭素関連。本プロジェクトと環境との関連
- ・ 東南海、南海地震に関する最新の研究動向等
- ・ 引き続き既設橋への維持管理手法への取り組みを取り上げてほしい
- ・ 土木構造物のメンテナンスに係わるテーマを多方面に
- ・ 温暖化対策と土木構造物
- ・ 老朽構造物の維持管理
- ・ 骨材の悪い地域での生コンクリートの品質向上
- ・ 3次元計測手法と応用例
- ・ 新材料（ステンレス、高強度鋼、コンクリートなど）の使用実績例など
- ・ 大学で研究している内容について、一般の人にわかりやすく講演してもらえる機会があれば
参加してみたい
- ・ 最近の話題等も取り上げて欲しい
- ・ 年度途中のプロジェクトは概要報告のみとし、最終年度で終了したプロジェクト報告を
メイン発表とする案はどうか？開催時期も「まとめ」を考慮し、7～9月に
- ・ プロジェクトの成果（実施物件）報告会があっても良いのでは？
- ・ 特別講演は建設関係に関するの討論会などが良い

**Q6. 今後、産学官連携で取組むことが望ましいと思われるテーマがあればお書き下さい。
(日頃の業務の中で苦慮されていることなどでも結構です)**

(舗装に関するテーマ)

- ・ 舗装関係と床版関係のメンテナンスをお願いします。

(橋梁に関するテーマ)

- ・ 橋梁の維持管理。
- ・ 小規模な橋梁への補修設計、損傷が激しくても橋梁の規模が小さいと費用をかけての補修に抵抗を示されるケースが多い。良い解決方法があれば。
- ・ 現実性のある生コン乾燥収縮対策について。
- ・ 三次元設計。

(環境やリサイクルに関するテーマ)

- ・ 二酸化炭素排出削減のための研究、騒音振動など建設公害削減技術に関する研究。
既設構造物に対する非破壊診断に関する研究。
- ・ トンネルだけでなく通路沿道の騒音、振動について取り上げて欲しい。
- ・ 砕石、砕砂製造に伴う脱水ケーキの有効利用、産業廃棄物指定の解除

(維持管理や防災、アセットマネジメントに関するテーマ)

- ・ 東海、東南海沖地震に対する道路などライフラインの保全
- ・ 各種施設の維持管理のあり方。
- ・ 地滑り対策関連をして欲しい。
- ・ Q5と同様に、社会基盤整備に対する納税者への合意形成手法、社会基盤のアセットマネジメント
- ・ 照明灯、標識柱等の地下埋設部分の不可視部分における健全性評価に関する研究。
容易低価格、省力化の調査方法及び、補修対策等
- ・ 損傷の複合劣化について。
- ・ 下水道関連。

(まちづくりに関するテーマ)

- ・ 安全、安心、住民参加

(制度や取り組みに関するテーマ)

- ・ 最近の話題や問題点に絞って、現実性に関するもの。
- ・ インフラの必要性、現存のもの危険性。
- ・ 規準・規格改訂問題
- ・ 公平な公共工事の発注の方法について
- ・ 技術基準において曖昧な事項（例：大型ブロック積擁の安定計算の考え方について検討、一定の見解をまとめる等。
- ・ メンテナンスは情報の蓄積が重要である。そのためには、スムーズに運用できるシステムが必要である。
- ・ 土木とICT
- ・ サイレントマジョリティの把握手法。

Q7. その他、研究会へのご意見等がございましたら、お書き下さい。

（研究会の体制や取り組み、PRに関する意見）

- ・非常に活発な研究活動であり、今後さらに発展させて欲しい。
- ・セミナー開催ありがとうございました。ご苦労様でした。
- ・新都市社会技術融合創造研究会という名称が難しく、何をやっているのかわからない。
- ・テーマを官から出て、学と産でそれを実践できるかどうか競合させるような開発方法を試してみると面白いと思う。
- ・産学官、連携として、官の立場における見解の評価、意見、発表が欲しい。
- ・河川の研究会との合体を検討してほしい
- ・発表者用パワーポイントファイルも公開して欲しい。
- ・別会場の発表の勉強したいので発表用パワーポイントファイルを公開して欲しい。PDFでもいい。
- ・聴講者は比較的年配の方が多いように思われた。若手技術者の参加が増えるような取り組みをして欲しい。
- ・暑かった。風通しが悪かったので、インフルエンザ菌が舞っていたのでは？
- ・本日のスケジュールは時間に無理がある。ろくに昼食も取れなかったので改善して欲しい。
- ・2会場に分割する場合、類似テーマを同一会場に集める方が望ましい。
例えば、構造物（橋梁、トンネル…）で分類、（健全性、防災…）で分類など。
- ・両面コピーを使うべき。

（プロジェクトの内容に関する意見）

- ・貴重な講義をありがとうございました。
- ・これだけの土木分野の先生方の講義を聴講できるのは有意義である。今後も継続していただきたい。
- ・研究会を3年計画程度で実施されている様であるが、結論がでないプログラムは必要ない。
（良いものについては、自己満足だけでなく、もっと有用に活用すべきである。
- ・行政機関が研究会の結果を活用した事例も知りたい（今後）新技術を一般化するための行動も重要だと思う。
- ・2～3年のタイムスケジュールを越えるテーマ、例えば、長期モニタリングについて官はどのように対応するのか。
- ・総合評価方式の現状と改善すべき点。
- ・テキスト資料と発表パワーポイントが合っていないものもあった。